

産業廃棄物処理計画書

令和5年8月22日

都道府県知事

福島県知事 内堀雅雄 殿

提出者

住所 福島県大沼郡会津美里町新屋敷
字沢道西甲1705番地1

氏名 美里建設工業株式会社
代表取締役 佐瀬 義彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0242-78-2356



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	美里建設工業株式会社
事業場の所在地	福島県大沼郡会津美里町新屋敷字沢道西甲1705番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業	
② 事業の規模	元請完成工事高：14,000万円（令和4年度実績）	
③ 従業員数	26人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">建設現場</div> <ul style="list-style-type: none"> ⇨ 汚泥・廃プラ・紙くず・繊維くず・金属くず ⇨ 中間処理委託（再生利用） ⇨ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず ⇨ 最終処分委託（埋立） ⇨ 建設系混合廃棄物・がれき類・木くず・燃え殻 ⇨ 中間処理（焼却・破碎等）を経て最終処分委託（埋立） ⇨ 石綿含有産業廃棄物 ⇨ 最終処分委託（埋立） 	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産廃担当役員（常務取締役）： 産廃物の管理運営の総括業務

↓

産廃担当（工事部）： 排出計画・産廃物処分決定・委託契約の締結

↓

産廃管理担当（総務部）： 監督官庁への各種報告
： マニフェスト交付管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	（これまでに実施した取組） 受注量や受注した工事内容等により種類と排出量が変わる為、 目標数値設定が難しく特に行っていない。	
②計画	【目標】 別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	（今後実施する予定の取組） 各現場で発生したものは、産廃業者に委託の上、適切な処理を行う。 受注現場の工事内容によるが、発注者と協議のうえ、施工方法を 工夫するなど発生量の抑制を目指す。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各現場で分別を徹底している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 引き続き分別の徹底。

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 4年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用業者に処理を委託していた。		

②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き可能な限り再生利用業者に処理を委託する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

